

# 平安京左京四条二坊十四町

本能特別養護老人ホーム（仮称）等建設に伴う  
埋蔵文化財発掘調査現地説明会資料

2003年6月7日

財団法人 京都市埋蔵文化財研究所



調査地 : 京都市中京区蛸薬師通油小路東入元本能寺南町

調査期間 : 2002年8月12日～継続中

調査面積 : 約2000㎡

調査機関 : (財)京都市埋蔵文化財研究所

**調査の概要** 調査地の本能小学校跡地は蛸薬師通・油小路通・小川通に囲まれた場所にあり、平安京の条坊では左京四条二坊十四町の西北四分の一町に該当する所です。北側の十五町は本能寺の旧地にあたりますが、その寺地は十四町の一部にもおよんでいたとする説もあり、関連する遺構が検出される可能性もありました。また江戸時代の絵図（寛永十四年洛中絵図）には道沿いに町家が並び、それらに囲まれた町の中央には本多甲斐守の京家屋敷が記されています。事前におこなった試掘調査では平安時代から近世の土層を検出し、当地が平安時代から近世にかけての遺構が重複した遺跡であることが確認されました。

発掘調査は平成14年度の8月から始め、約1年間の調査期間を予定しています。これまでに東側調査区（1区）および条坊関連遺構の確認トレンチの調査・記録を終え、現在は西側の調査区（2区）の室町時代後半から江戸時代初期の遺構を調査しています。2区のほぼ中央に、本多甲斐守の京屋敷に関連する大規模なゴミ捨て穴が検出され、多量の土器・陶磁器の他、木製品や食物残滓など当時の生活をしのばせる多様な遺物が出土しています。

**遺構** 1区を含めこれまでに検出したおもな遺構には江戸時代後期のものとして、建物（土蔵）の基礎跡や敷地の境界と思われる柵や井戸・便所のほか水琴窟なども検出しました。

江戸時代前半の遺構には石列・井戸・柱穴・ゴミ捨てと思われる土壌などがあります。桃山時代から江戸時代初頭の遺構としては大形の土取り穴が多数検出されていますが、この時期の井戸など生活に関連する他の遺構がほとんど無いことから、本能寺の移転から町家や武家屋敷が成立するまでの期間、この周辺が空閑地あるいは比較的人家の密集していない地域であったことが推定できます。

室町時代の遺構は井戸・土壌などで、室町時代中頃から後半にかけての遺構密度は低く、遺物の出土量も他の時代に比べ少量です。おそらく応仁の乱や法華の乱など戦乱の影響で京都の町が衰退したことを反映した結果と思われます。ただ、井戸などが検出されているので、人家が全く無かったということではなさそうです。この時期の後半に本能寺がこの近辺にありましたが、現在のところ寺に関連する可能性のある遺構は検出されていません。しかし、四条坊門小路の南側溝を確認するため設定

した2箇所のトレンチでは、平安時代の路面と南側溝の一部、および戦国時代末の同側溝を検出し、この時期（「本能寺の変」の頃）には小路南側溝が幅4m以上、深さ1.5mの規模の濠状に作り替えられていることが確認できました。この濠は当時の下京（下の町）を取り囲む惣構えの濠と考えられます。『洛中洛外図屏風』（米沢市上杉博物館所蔵）には右隻第四扇の下方に本能寺が描かれていますが、寺の東（西洞院通）と南側（四条坊門―現蛸薬師通）に構えの土塀や出入りのための木戸が見えます。さらに西洞院通には川が描かれています。四条坊門については土塀に隠れて濠は見えませんが、おそらく今回検出した濠は西洞院川と西方の堀川をつなぐ形で、構えの土塀に沿って掘られたものと考えられます。したがって、本能寺はこの濠の北、すなわち四条坊門以北に位置していた可能性がきわめて高いものといえるでしょう。

平安から鎌倉時代の遺構としては多数の小規模な柱穴や土壇がありますが、その他に10世紀頃作られたものをはじめ井戸数基を検出しています。この平安時代、とくに後期から鎌倉時代時期の遺構密度が最も高く、遺物も多量に出土しています。

**遺物** 遺物はこれまでに950箱ほど出土しています。内容は主として土器類（土師器・陶器・須恵器・緑釉陶器・灰釉陶器・黒色土器・瓦器・輸入陶磁器など）で、その他に瓦類、石製品（石臼・砥石・硯）、金属製品（銅銭・飾り金具・鉄釘など）、木製品（曲げ物・井戸部材）などがあります。

なかでも注目されるのは本多氏の京屋敷に関連するゴミ捨て穴（SK2053・2054）の遺物です。この土壇は約8m四方、深さ1.4mの大規模なもので、長期にわたってゴミが投棄されていたようです。ここからは整理箱にして50箱を超える土器・陶磁器類の他、木製品、金属製品、骨・貝や植物の種実などが多量に出土しました。これらのうちの大半は食物として利用されたものの残滓と考えていますが、なかにはネコやネズミ、カメなど食物以外の動物遺体も含まれています。

土器類には土師器皿・鍋・塩壺・瓦質土器火鉢・鉢・香炉や国産の施釉陶器（唐津・瀬戸美濃）・伊万里や明の染付磁器の椀・皿・鉢・壺など、備前・丹波・信楽など焼締陶器のすり鉢・甕・壺などがあります。

木製品には箸や筥・漆器椀・折敷などの食膳具、下駄・櫛・扇子あるいは桶板や栓などの生活用品、その他建築部材や加工屑があります。

金属製品には鉄釘・銅釘・銅銭（寛永通宝含む）・煙管・火箸あるいは飾り金具や刀装具などが出土しています。

動物遺体や食物残滓については詳しい同定は終了していませんが、現在までにわかっているものだけでも、魚類ではマダイを含むタイ科・ハモ科・サバ科・ブリ・カツオ・アジ・スズキ・マゴチ・カサゴ目・ボラ属・カマス・コウイカ・フナ・コイなどの魚骨や鱗、貝類ではサザエ・アカニシ・アワビ・ハマグリ・アカガイ・パイ・アサリ・カキ・イタヤガイ・ツメタガイ・マツカサ・シジミ・タニシ、鳥類にはアオサギ・ガンカモ科数種・ニワトリ・キジ科など、他の動物遺体にはイヌ・イエネコ・ニホンジカ・ネズミ科・ウシ科・など多様な種類があります。このなかには刃物疵のある骨や火を受けた貝殻など、あきらかに調理の痕跡が認められる資料があり、当時の武家屋敷の生活の一端をうかがう貴重な資料を得ることができました。

(自然遺物の同定についてはくらしき作陽大学 北野信彦・岡山理科大学 富岡直人 両氏の協力を得ました。)

### 平安京と戦国期の京都

(戦国期の京都は高橋康夫『洛中洛外』による 一部加筆)

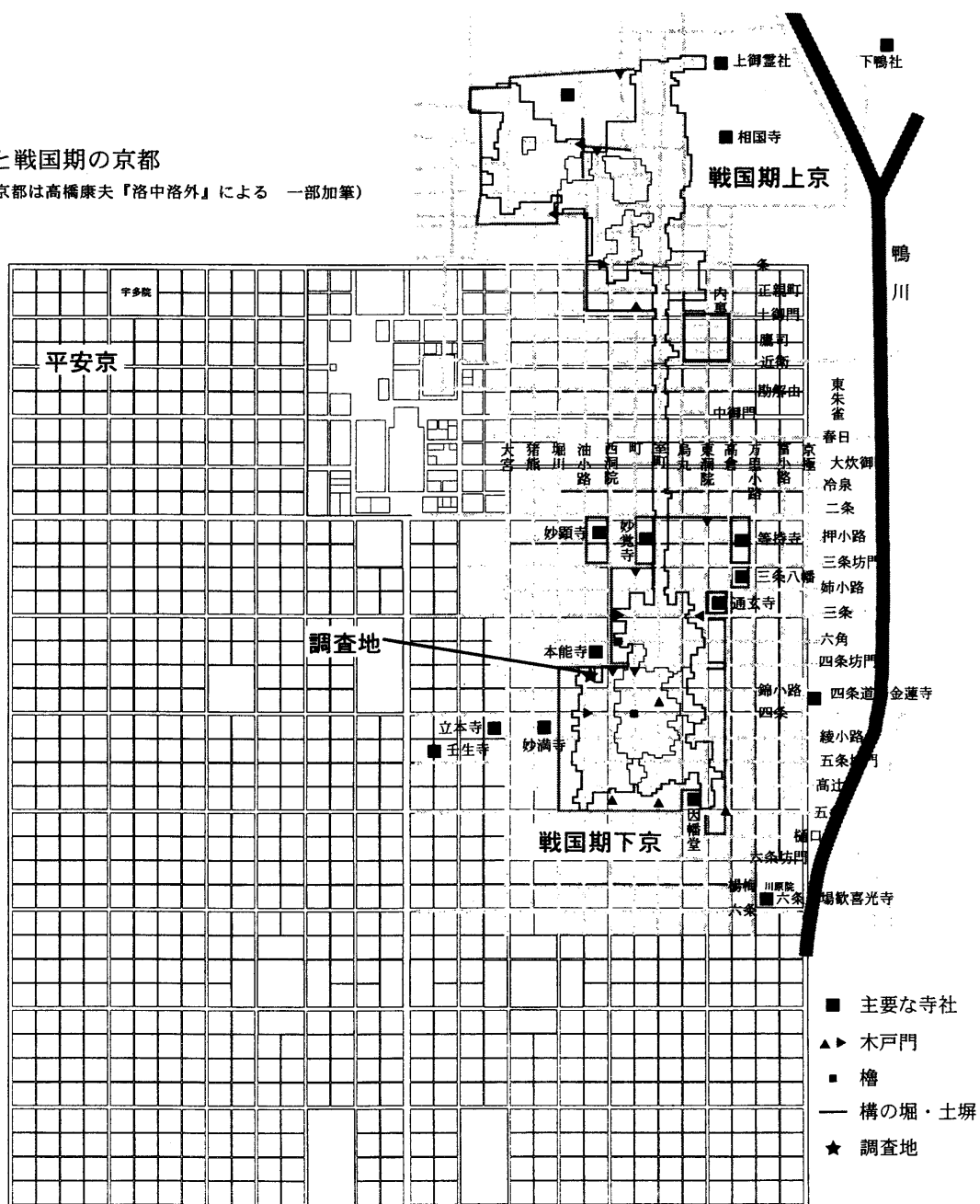
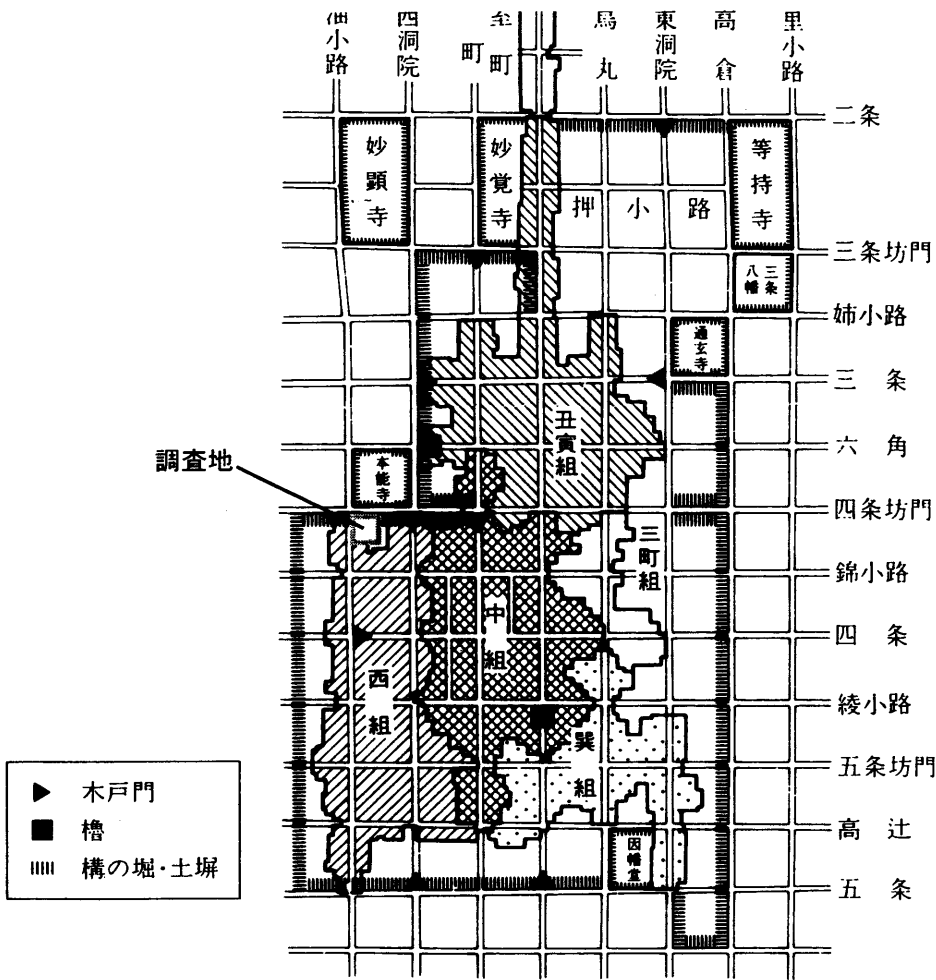


図-1 遺跡の位置

図-2 戦国時代末期の下京

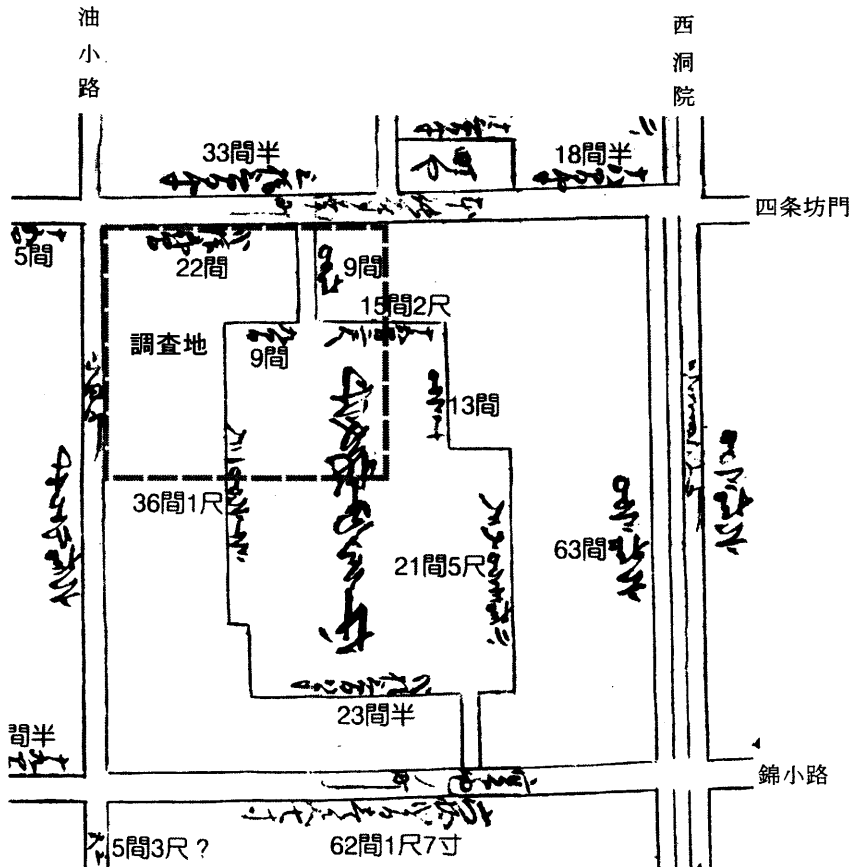
高橋康夫『洛中洛外』より転載



『洛中洛外図』などから復元された当時の下京。町の周囲には惣構の濠と土塀が巡る。

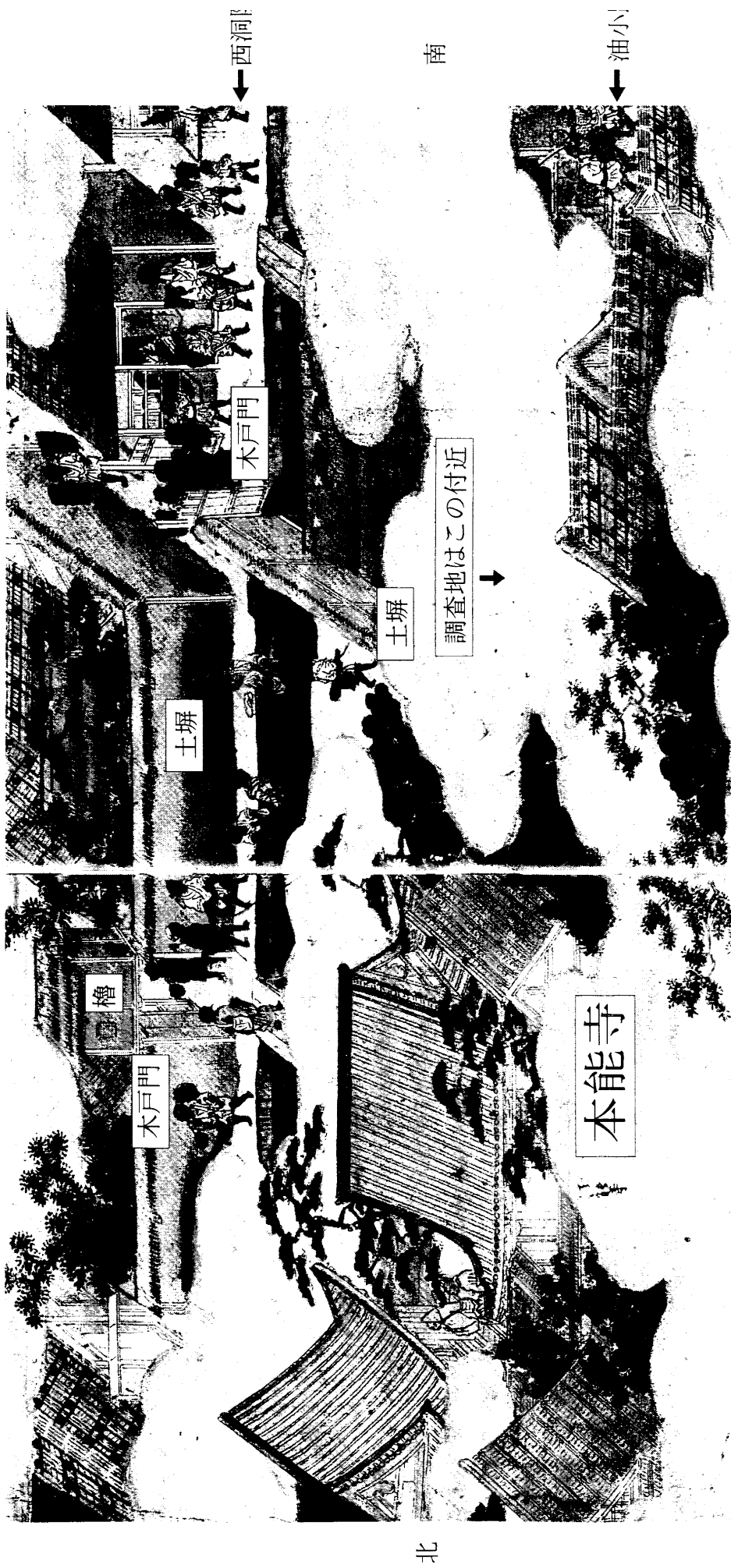
本能寺南側の四条坊門—現蛸薬師通に沿って構が想定されているが、今回の調査で検出した濠はこの復元案とよく一致している。

図-3 寛永十四年洛中絵図に記載された本多甲斐守の京屋敷（上が北）



この段階で四条坊門に「本能寺南町」、油小路に「山田町」と現在の町名が見える。周囲の道路に沿った町屋に囲まれた中に1000坪を超える敷地を持つ「本多甲斐守」の京邸があった。

四条坊門（現蛸薬師）



洛中洛外図上杉本 部分 米沢市（上杉博物館）所蔵

図-4 洛中洛外図に描かれた本能寺と調査地の周辺

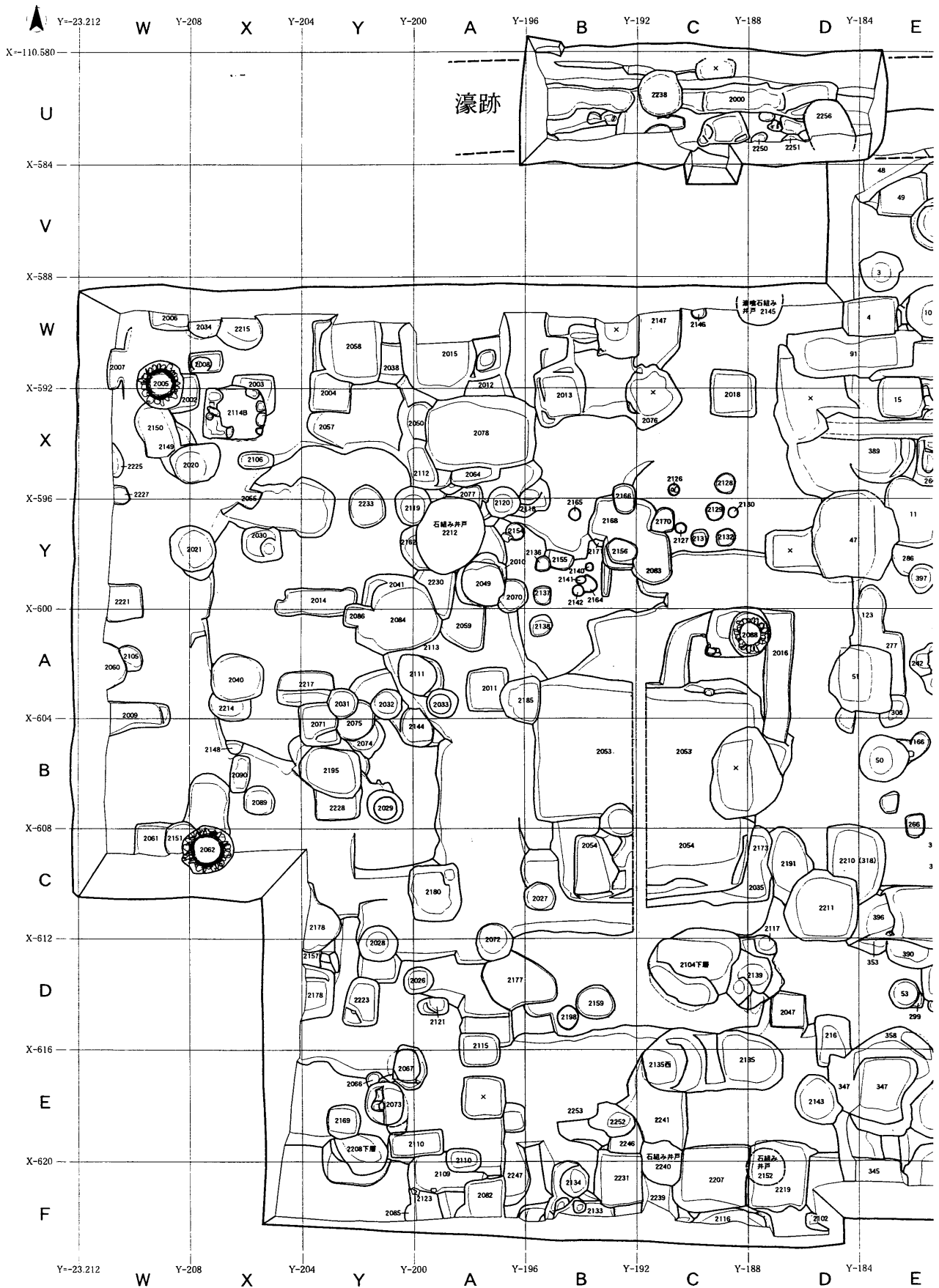
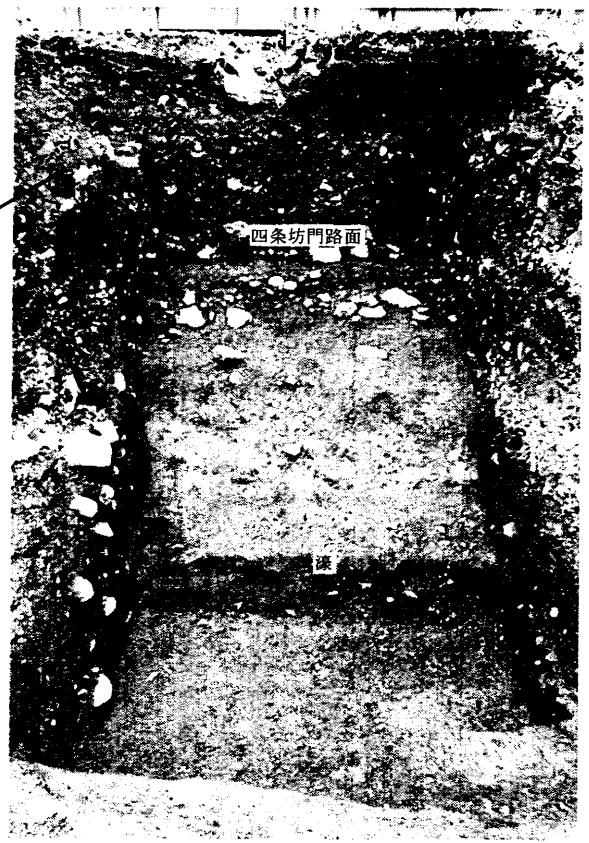
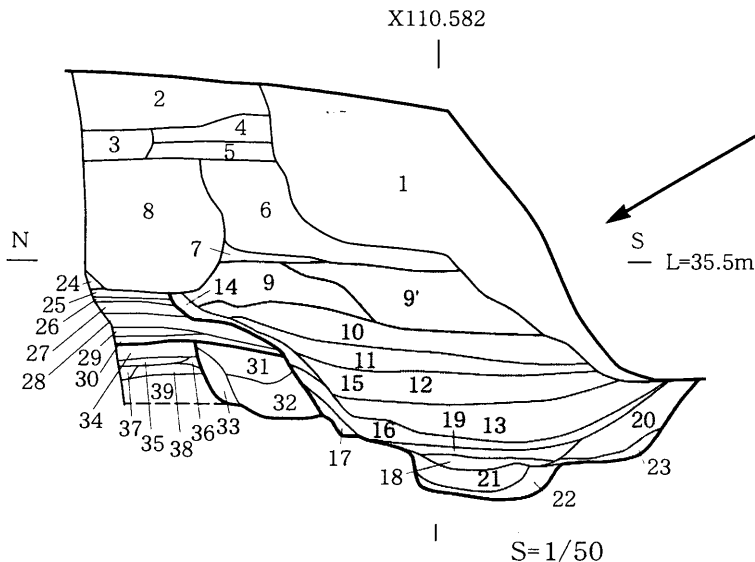


図-5 遺構平面図 2区 (1/200)







- 1 基礎撤去時の掘削
- 2 2.5Y3/2 黒褐色泥土炭混
- 3 2.5Y4/2 黄灰色砂泥砂混
- 4 10YR4/3 鈍い黄褐色砂泥
- 5 灰色碎石層 (小学校整地)
- 6 焼け瓦と漆喰片
- 7 10YR4/3 鈍い黄褐色砂泥炭混
- 8 10YR3/3 暗灰色砂泥ブロック、漆喰、拳大の礫多量
- 9 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥礫含む
- 10 2.5Y4/4 オリーブ褐色砂泥
- 11 10YR5/4 鈍い黄褐色砂礫
- 12 10YR3/4 暗褐色泥砂
- 13 10YR4/4 暗褐色砂泥
- 14 2.5Y4/3 オリーブ褐色泥砂
- 15 10YR4/4 褐色泥砂
- 16 10YR3/3 暗褐色砂泥鉄分多く含む
- 17 2.5Y4/3 オリーブ褐色砂泥
- 18 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色粘質土 径2~3cmの礫少量含む
- 19 2.5Y4/2 暗灰黄色砂泥径5cmの礫と土師器片含む
- 20 2.5Y4/3 オリーブ褐色粘質砂泥 褐色砂泥ブロック、炭混
- 21 10YR4/2 灰黄褐色泥土径10cm~の礫、炭混
- 22 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色粘質土+暗褐色砂泥
- 23 10YR4/6 褐色砂泥
- 24 2.5Y4/3 オリーブ褐色細砂
- 25 2.5Y4/4 オリーブ褐色砂泥径5cm前後の礫含む
- 26 2.5Y4/4 オリーブ褐色砂泥 25より小さな礫混
- 27 2.5Y4/3 オリーブ褐色砂泥 礫含む
- 28 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥 径5~10cmの礫多量に含む
- 29 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 拳大の礫少量含む
- 30 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥 拳大の礫含む
- 31 2.5Y4/2 暗灰黄色砂泥炭混
- 32 2.5Y4/2 暗灰黄色粘質土、オリーブ褐色砂泥ブロック、炭混
- 33 2.5Y5/2 暗灰黄色砂泥炭混
- 34 2.5Y4/2 暗灰黄色粘質砂泥 オリーブ褐色砂泥
- 35 2.5Y4/3 オリーブ褐色砂礫 よく締まる
- 36 2.5Y4/3 オリーブ褐色砂泥 やや粘質
- 37 5YR4/6 赤褐色砂礫 径1cm以下の礫
- 38 2.5Y4/4 オリーブ褐色微砂
- 39 2.5Y4/6 オリーブ褐色粘質砂泥

戦国時代末期の濠

路面

平安時代側溝

路面

図-7 調査地北端で検出した濠SD2000



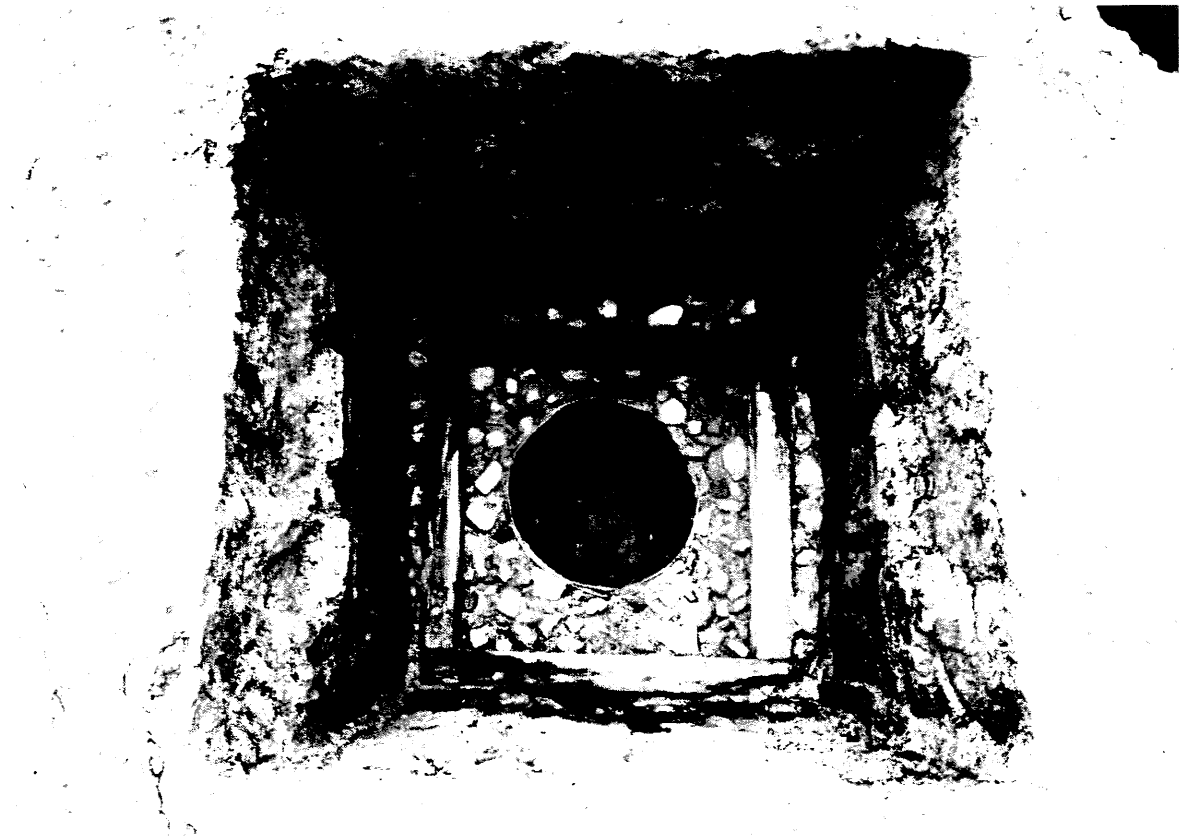
1区 桃山・江戸時代初期の遺構



2区 平安・鎌倉時代の遺構



1区 室町時代後期の石組み井戸



1区 平安時代前期の井戸



2区 江戸時代前期の遺構

